

## 町長登庁式 職員への訓示

この度、北栄町長に就任いたしました手嶋俊樹です。日ごとに責任の重さを痛感しています。

3か月前、同じこの場所で副町長の退任式を開いていただき、その時「人には必ず出番がある」とお話しし、過日行われた北栄町長選に出馬いたしました。

選挙期間中は、いろいろと不安なことがありましたが、支えていただいたのは、後援会の方や支援をいただいた住民のみなさんでした。私は、みなさんの期待に応えるべく、北栄町が将来にわたって持続可能なまちとして発展していけるよう取り組んでまいります。そのためには、職員のみなさんと一緒になって、同じベクトルで取り組んでいきたいと思っています。

この持続可能なまちづくりであります。ご存じのとおり「北栄町まちづくりビジョン」の方針そのものです。私は、選挙選で毎年の人口減少で将来、何が課題になってくるのか。それは、これまでできていたことが将来、できなくなることだと訴えてきました。こうならないためには、既存のいろいろなことを守っていく必要がありますが、これまでのように同じことをしていくというものではありません。役目を終えたものは廃止し、大事なもの大切なものは何かをしっかりと見極め、その時々にあった方法で守り、次の時代に繋げていくということを皆さんとともに取り組んでいきたい

と思います。

次に、町民の意見をよく聞いて、町政に反映していただきたいと思います。私は、これまでの行政の経験上、問題となっている現場に積極的に出向き、その現状を把握し、関係者の意見を聞き、その問題の所在と背景を自ら確かめ、町民の皆様の意見を聞きながら、判断していくことが重要だと思っています。どうか、職員の皆さんも同様の姿勢で臨んでいただきたいと思います。そして、役場やこども園が何のためにあるのか、町長や職員は何のためにいるのか(もちろん、それは町民のためではありますが)その基本的なところを忘れずに業務に励んでいただきたいと思います。

そして、職員の皆さん自身の意識改革です。皆さん自身が、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けたいという思いを強く持っていただき、そうなるためには、どうしたらよいか、計画を練って、実行し、検証し、改善していく。そして、夢の・思いの実現のためには、皆さん自身が楽しく仕事ができなければ、魅力あるまちづくりはできないと思います。

また既存のシステムを守るためにできないことを探すのではなく、どうしたらできるかを粘り強く探していく、そういう姿勢も忘れないでいただきたい。

常に町民目線に立って、より良い行政の在り方を模索し、決して、現状に甘んずることなく、前例にとらわれることなく、いろいろなことを情報収集し、整理し、常に向

上心そして夢と希望を持って、持続可能なまちづくり、その実現に向けて努力していただきたいと思います。

まずは、コロナ対策をしっかりと行い、今年度計画されている事業を確実に執行していきましょう。

どうぞ、私とともに、目標に向かって、取り組んでいただきますようお願いし、町長就任にあたっての訓示といたします。

令和3年10月25日

北栄町長 手嶋俊樹